

## 7 市役所カワルプロジェクト

### プロジェクトの概要

市民ニーズが多様化・高度化するなか、効率的かつ効果的な行政サービスが求められています。また、市民の皆さんと協働してまちづくりを進めていくためには、信頼される市役所でなくてはなりません。

そこで、このプロジェクトでは、職員が、「自ら考え、自ら発信し、自ら行動する自立（律）型」となり、また「市民や企業等と連携する協働型」、「今の時代に合わせた仕組みやルールを作り出す創造型」をプラスし、市民起点の意識を持って仕事に取り組む職員をめざすとともに、併せて、成果をあげながら成長していく組織（市役所）づくりに取り組みます。

### 目的（ゴール）

#### 何を（対象）

全職員・  
組織（市役所）

#### どういう状態にしたいのか（意図）

- ・職員が、現状や根拠等を把握し、何をどうすべきかをしっかりと考えて適切に判断し、その結果を説明できる。
- ・活発な議論ができる職場環境の中で、職員がマネジメントを理解し、実践することで、組織が成果をあげる。

### これまでの成果

- 改善報告件数がH23年度の337件からH27年度は1,515件と増加を続けており、改善の取組みを契機として、職員の中に考える意識と行動が広がりつつある。
- 根拠等を問いかける取組みにより、職員の知識習得や考える意識の向上につながっている。
- 時間外の講座（まるかじり講座）に全職員の約3割が1回以上参加し、様々な考え方や視点等を習得するとともに、仕事に前向きに取り組もうとするやる気の向上につながっている。

### これまでの課題

- 管理監督職員が、まだ十分に自らの役割を理解して行動できていない状況があるとともに、組織マネジメントに関する理解や実践能力をさらに向上させる必要がある。
- 職員が、根拠、考え方や選択等に関して前例踏襲するなど、まだ十分に考えて説明できていると言えない状況がある。
- 市民起点の意識や地域と対話できるスキルを有する職員を増やす必要がある。

平成29年度の取組方針・主な取組み

取組方針

- 目的・目標の達成に向けてチーム一丸となって仕事に取り組む環境づくりを行います。
- 管理監督職員の役割理解と組織マネジメント力を向上させます。
- 市民起点で現場の課題を捉え、常に考えながら解決に向け行動する職員を育成します。

主な取組み

- 管理監督職員の役割を明示し、その理解を促進して責務を自覚させるとともに、組織の課題解決に取り組む組織マネジメントを実践することで、目標の達成に向けてチーム一丸となって取り組む環境をつくり、成果をあげる組織づくりに取り組みます。
  - ・ 組織マネジメント研修の実施とマネジメント実践
- 決裁等の際の上司による問いかけや、職員による業務改善の取組みを契機として、常に考える意識を持ち知識習得等を図る職員を増やす取組みを行います。
  - ・ 業務改善活動の促進
- 様々な人の活動等を知ることで、職員のさらなる意識・やる気向上や、幅広い考え方・視点の習得・気づき等につながる取組みを行います。
  - ・ まるかじり講座の開催
  - ・ 庁内報の発行

関連事業

行政マネジメント推進費

3,592 千円